

4 暑熱についての技術対策

(1) 畜種共通

【環境対策】

- ・暑さが厳しくなる前に送風機、ミスト装置など暑熱対策機器の点検を行いましょう。
- ・開放畜舎であれば窓をできるだけ開放し、畜舎内の空気の流れや風を妨げるものは片づけましょう。
- ・ミスト装置を活用すると気化熱により畜舎内の空気を冷やせますが、畜舎内の湿度が上がりすぎると体感温度を上げてしまいます。利用する際は換気に気を付けましょう。
- ・新鮮な水を十分に飲めるようにしましょう。
- ・屋根散水、石灰塗布、断熱塗料などを活用し^{ふく}輻射熱を抑えることで畜舎内の温度上昇を抑えましょう。
- ・よしずや寒冷紗、グリーンカーテンなどを利用して直射日光が畜舎に入ってくるのを防ぎましょう。
- ・温湿度計を設置し畜舎内の環境を把握しましょう。

【飼養管理対策】

- ・きれいな冷たい水を十分に飲めるようにしましょう。給水器の掃除や給水量の点検を行い、十分な給水が確保できるように工夫しましょう。
- ・飼槽はこまめに掃除し、変敗した飼料が残らないようにしましょう。
- ・暑熱ストレスや飲水量の増加によってミネラルなどが不足しがちになるので、各家畜に適したビタミンミネラルを補給しましょう。
- ・密飼いを避け、ハエなどの害虫対策を行い家畜のストレス軽減に努めましょう。

(2) 酪農

【環境対策】

- ・牛舎内の風の流れは秒速 2～3m程度確保するようにし、特に牛の首から肩付近の発熱量が多い部位に風が当たるようにしましょう。

【飼養管理対策】

- ・牛舎内の場所によって環境に差がある場合には、分娩前後や泌乳ピークの牛、高齢

の牛など暑さに弱い牛をなるべく条件の良い場所で飼養するようにしましょう。

- ・牛の毛刈りや体に付いたふんを落とすことなどにより、体表からの熱放散を促しましょう。
- ・粗飼料の切断長を短くすること、良質粗飼料の使用などにより、飼料の消化による熱発生を減らし、採食量を保つようにしましょう。

(3) 肉牛

【環境対策】

- ・牛舎・牛房内の湿気を減らすための扇風機の調整や、水濡れ箇所や湿ったエリアの掃除をしましょう。

【飼養管理対策】

- ・涼しい時間帯（早朝・夜間など）に飼料給与し、給与回数を増やす等、飼料を食い込ませる工夫をしましょう。

(4) 養豚

【環境対策】

- ・送風ダクトを利用し豚体に直接風を当てることで、体表からの放熱を促しましょう。
- ・母豚の体熱放散促進のため、ドリップクーリング（水滴を豚体首筋付近に滴下）を実施しましょう。ペットボトルの解氷水を利用すれば停電時にも使えます。
- ・水浴びにより、体熱放散を促進させることができます。衛生対策に十分留意しながら、自由に水浴びすることができるように床面の一部に水を張ることも検討してみましょう。

(5) 養鶏

【環境対策】

- ・鶏体に直接風を当てると、体感温度が低下するので、扇風機の向きを調整してみましょう。
- ・暑熱ストレス低減のため、飼料や飲料水に重曹を 0.5～0.7%程度添加し、鶏の飼料消費量低下の抑制に努めましょう。
- ・ふんが積まれていると空気の流れを妨げたり、発酵熱が発生します。こまめに除ふんしましょう。
- ・不必要な機械、廃材等を鶏舎の周りに放置しないようにしましょう。金属物は熱を蓄

積し、鶏舎へ放熱する性質があります。

- ウインドレス鶏舎では、ファン、サーモスタット、蒸散冷却システム等の機器の保守点検を実施し故障を防止しましょう。